

(基本情報)

会議名称	第3回 立川市地域福祉推進委員会兼第6次地域福祉市民活動計画推進委員会
開催日時	令和8年2月18日(水曜日)午後7時00分～9時00分
開催場所	立川市総合福祉センター(2階 視聴覚室)
次第	1. 委員長あいさつ 2. 委員自己紹介 3. 地域福祉アンテナショップについて 4. 地域福祉アンテナショップについてのグループワーク 5. その他、次回日程等
配布資料	1. 第2回 立川市地域福祉推進委員会兼第6次地域福祉市民活動計画推進委員会 議事要旨 2. 広報たちかわ11/10号 3. 地域福祉アンテナショップ(全部型、協働型)設置状況(エリア別、運営、利用状況等) 4. 地域福祉アンテナショップ交流会報告書 5. 地域福祉アンテナショップ解除一覧 6. 立川市地域福祉推進委員会・第6次地域福祉市民活動計画推進委員会スケジュール 7. 立川市地域福祉推進委員会・第6次地域福祉市民活動計画推進委員会委員名簿
出席者	[委員] 熊田博喜(委員長)、中村喜美子(副委員長)、伊野滉司、佐伯大太、佐藤節子、島田美喜、菅根浩子、須崎健史、高木理緒、中村ひとみ、長井琢英、藤原紀子、宮本直樹、向山時恵、吉川春樹 [事務局] <立川市> 西上大助(地域福祉課長)、倉田雄一(地域福祉推進係長)、田中真吾(地域包括ケア推進係長) <立川市社会福祉協議会> 大平武彦(事務局長)、枝村珠衣(地域活動推進課長)、小山泰明(地域づくり係長)、内金崎快、高橋美季、柴寄日和(地域づくり係)、安藤徹(地域包括支援係長)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	以下の通り

その他	以下の通り
担当	立川市社会福祉協議会 地域活動推進課 電話 042-540-0200 (代表)

【記念品配布】

机上にて記念品を配布した。

【1. 委員長あいさつ】

委員長よりあいさつがあった。

【2. 委員自己紹介】

前回欠席した委員による自己紹介を行った。

【3. 地域福祉アンテナショップについて】

広報たちかわ 11/10 号をもとに、地域福祉アンテナショップの紹介を行った。

地域福祉アンテナショップ(全部型、協働型)設置状況(エリア別、運営、利用状況等)、地域福祉アンテナショップ解除一覧をもとに、終了した協働型地域福祉アンテナショップの経緯、原因などについての説明を行った。

協働型地域福祉アンテナショップの検討をしている団体のエピソードを共有した。

地域福祉アンテナショップを継続・広げるポイントについて、委員からエピソードを共有した。

【4. 地域福祉アンテナショップについてのグループワーク】

全部型地域福祉アンテナショップ及び協働型地域福祉アンテナショップの周知について、協働型地域福祉アンテナショップの再考をテーマに、グループワークを行った。結果は別紙のとおり。

【5. その他、次回日程等】

〔次回委員会の日程確認〕

第4回:6月10日(水) 第5回:8月19日(水)

いずれも 19:00~21:00

会場 総合福祉センター

第3回 立川市地域福祉推進委員会
第6次地域福祉市民活動計画推進委員会 記録

I グループ

日時	2026年2月18日(水) 19時00分~21時00分
場所	立川市総合福祉センター 視聴覚室
	<p>協働型地域福祉アンテナショップの再考について</p> <p>○どのような協働型地域福祉アンテナショップであれば参加したいと思うか(参加者側)</p> <ul style="list-style-type: none">・生活圏にあつて、面白そうと思える場・取り組まれている内容と参加者の目的が一致している場・魅力的な場、個性的な場・好きな「もの」、「こと」と出会えて、会話が出来る場・何もしなくても、話さなくても、居させてくれる場・「ここにすれば〇〇さんがいる」といった、信頼できる人がいる・ほしい情報が得られる・駄菓子屋のような、いつでも誰かいて、安心できるような場所 <p>○どのような条件だと活動したいと思うか(活動者側)</p> <ul style="list-style-type: none">・人材、資金、場所への不安が大きいと思うため、そこが安定していて、無理なく続けられることが必要・自分の趣味を活かせる場・協働型の実施をすることで、資金面での優遇があればいいのでは(各種、助成金、補助金などが優先的に受けられるなど)・協働型地域福祉アンテナショップのバックアップがあればいい・既に満たしているが、活動する上での市、社協がバックにあることでの信頼が得られて、活動の広報も協力してもらえることは大きい・企業として、場所貸しを検討した際に、情報漏洩などを考えてしまうと、躊躇してしまう <p>地域福祉アンテナショップの周知について</p> <p>○多機能な場所であるアンテナショップの何をどのような伝え方をすれば自分の場所だと思ってもらえるか</p> <ul style="list-style-type: none">・場の特色をうたっていくことが大切・不定期な活動より、定期の活動がよい 回数は少なくとも、定期で必ず開いていることが価値になる・広報誌などを読まない人もいるため、口コミの影響が強い・対象者が分かりやすいと入りやすいし、行ってみようか思ってもらえる

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ターゲットを明確化することで、広報の作戦を立てやすい・まずは、知ってもらう必要があるので、地域福祉アンテナショップが一堂に会したお祭りを実施する・有償だと抵抗を感じる世代もいるため、東京ポイントにならって、立川ポイントを導入し、ボランティアをしたらポイント付与、溜まったポイントでコーヒー一杯など、面白さがあれば、参加してくれる人は増えそう・外観から見える印象も重要（例 Base☆298 で子どもがゲームをしていたら、関わりがない子どもも外から様子を見て入ってくれた）・ボランティアコミュニティを作り、気になる地域福祉アンテナショップにボランティアとして参加することができる 一か所に限定するわけではなく、色々な場に参加できるようにする |
|--|--|

第 3 回 立川市地域福祉推進委員会
第 6 次地域福祉市民活動計画推進委員会 記録

2 グループ

日時	2026 年 2 月 18 日(水) 19 時 00 分～ 21 時 00 分
場所	立川市総合福祉センター 視聴覚室
	<p>協働型地域福祉アンテナショップの再考について</p> <p>○どのような協働型地域福祉アンテナショップであれば参加したいと思うか(参加者側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私も来てても良いんだ。」と思える場所。 ・テーマ別の「同窓会」のような場所。例えば、魚釣り、料理、断捨離などのテーマ。 ・「パンの日」というイベントの開催。パンは、老若男女問わず人気の食べ物だと思う。 ・食をテーマにして、「多世代食堂」も地域福祉アンテナショップになれるのではないかな。 ・歩いて行ける場所にある。 ・行くと楽しいと感じられる。 ・大人の学童のような場所。 ・そもそも物理的な場所でないといけないのか。Web サイト上などでも実現できるのではないかな。 ・行政施設、学童、自治会館、公園、空き店舗などを活用する。 <p>○どのような条件だと活動したいと思うか(活動者側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動したい人(ボランティア)」が、様々な協働型地域福祉アンテナショップで活動できる。人材派遣のような活動方法ができる。 ・期間を限定した場所ではなく、継続して活動を続けることができる場所。 ・日中と夜で活動時間が分かれている。 <p>地域福祉アンテナショップの周知について</p> <p>○多機能な場所であるアンテナショップの何をどのような伝え方をすれば自分の場所だと思ってもらえるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉アンテナショップに連れて行く「営業マン」が欲しい。 ・スケジュール化した告知が必要。「毎月第○曜日の○時は必ず空いている」など、認識してもらうことが必要。 ・周知したいターゲットを絞る。 ・戸建てなのか、マンションなのかで周知方法が違う。 ・参加した人からの口コミ。 ・広報たちかわやまちなねっと、立川市の公式 LINE など、公的な信用度の高い広報手段を全て駆使する。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・毎日見るような場所で広報する。スーパーや薬局やコンビニなどにチラシを置いてもらう。・ペットを飼っている人のコミュニティがあるので、ペット OK のアンテナショップを作り、コミュニティの中で周知してもらう。・先行事例を作る。・店主が出張する形式にする。例えば、商店街ではクリーニング屋さんがアイロンの掛け方の出張講座を開催している。結果として、講座に参加したけれども、自分でアイロンをかけることが難しい方などが後日お店に来店している。 |
|--|--|

第3回 立川市地域福祉推進委員会

第6次地域福祉市民活動計画推進委員会 記録

3 グループ

日時	2026年2月18日(水) 19時00分~21時00分
場所	立川市総合福祉センター 視聴覚室
	<p>協働型地域福祉アンテナショップの再考について</p> <p>○どのような協働型地域福祉アンテナショップであれば参加したいと思うか(参加者側)</p> <ul style="list-style-type: none">・靴を脱がなくても良い場所・ポイント制があり、人に紹介するとコーヒーが一杯無料で飲める場所・支えあいサロンのような気軽なつながりがある場所・徒歩圏内の場所・興味のあるテーマを実施している場所・テーマに興味がない人は自分の居場所とは思えないのではないか・テーマがたくさんあった方がより多くの人に参加しやすい・食をテーマにしている場所・現在ある地域食堂を協働型地域福祉アンテナショップにしてはどうか・開いていればいつでも立ち寄れる全部型のように協働型として開所しているとき以外にも立ち寄れる場所・「アンテナショップ」の名の通り立川市の物産を売っている場所・読まなくなった本を置ける場所 <p>○どのような条件だと活動したいと思うか(活動者側)</p> <ul style="list-style-type: none">・協働型としてだけでなく本来の業務運営が安定していること・本来の業務運営の負担にならないこと・会館の縁側を協働型にするなど行政の管轄している施設と協働すること・個人の負担にならず、仲間が集まりやすいこと・月次報告など事務作業は最低限であること <p>地域福祉アンテナショップの周知について</p> <p>○多機能な場所であるアンテナショップの何をどのような伝え方をすれば自分の場所だと思ってもらえるか</p> <ul style="list-style-type: none">・地域多機能型拠点だがその言葉を使わず「人の役に立てる場所」「情報が得られる場所」「ふらっと立ち寄れる場所」など人に言い換える・アンテナショップ同士の連携を密に図り、住民に対して互いの場所を周知し合う・知っている人が紹介する・紹介カードをつくり、ポイント制にする

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・社会福祉士の実習生を受け入れ、周知の方法について定期的に案をもらう・見た目が惹かれる外観であることを伝える |
|--|---|